

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 4 - 7

1 事務事業の表示

該当

事務事業名		リサイクル推進事業				
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	渡辺孝司		氏名	内藤肇昭
事業の概要	・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・売捌き手数料の支出				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
	事業費	国・道支出金			千円	
		地方債			千円	
		その他			12,369 千円	
		一般財源			14,851 千円	
事業費計				27,220 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~			
	基本施策	15	環境の保全			
	単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進			
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務		
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画・廃棄物処理法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他財源	1,050 千円	2,000 千円	2,123 千円	2,322 千円	2,322 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,062 千円	3,933 千円	3,276 千円	3,008 千円	3,008 千円
	合計	2,112 千円	5,933 千円	5,399 千円	5,330 千円	5,330 千円

554

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(一般家庭ごみ)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	最終処分場の延命化。	1人1日当たりの排出ごみ745g、リサイクル率32.8%			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化、費用負担の公平化。	年間総収集量 ÷ 365 ÷ 収集人口(年間平均) / 1人1日当たりの排出ごみ(g)	指標(指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成24年度	
			目標値	745 g	
			実績値	788 g	
達成度	105.8 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	新たな経費負担(廃棄物最終処分場)が回避できる。	資源ごみの重量 ÷ 総廃棄物の重量 / リサイクル率(%)	目標年度	平成24年度	
			目標値	32.8 %	
			実績値	24.3 %	
			達成度	74.08537 %	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
ごみ指定袋の有料化	ごみ指定袋の有料化により、町民のごみの減量化意識の定着、資源ごみのリサイクル化を行った。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化が図られており、最終処分場の延命化により、新たな経費負担が回避できる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	指標の目標値に近づいており、指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化、リサイクル化が進んでいる。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化、リサイクル化が図られており、手数料は廃棄物処理財源に充てるなどコストに見合った効果が得られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	指定袋による有料化により、費用負担の公平化がなされていると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
指定袋による、ごみの有料化が、町民のごみの減量化意識を定着し、資源ごみのリサイクル化を推進していることから、計画どおり事業を進めることが適正と判断する。	同左	

<b>今後の展開方向</b> (Action)	継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
	今後も指定袋を活用したごみ収集を通して、ごみの減量化、リサイクル啓発を行うため、継続実施が必要な事業と判断する。	同左	
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--